

アジア・オセアニア 豆知識



中国で拡大の一途をたどるEC市場

近年の中国では、インターネット環境の整備とスマートフォンの普及、所得の向上などを背景に、EC（電子商取引）市場の拡大傾向が続いており、中国の人々にとって重要なプラットフォーム化しています。また、中国人消費者の正規品や良質な商品に対する需要が高まっていることから、越境EC*も増加しており、EC市場の持続的かつ急速な発展を支えています。

*インターネット通販サイトを通じた国際的な電子商取引

EC（電子商取引）の伸長が著しい中国

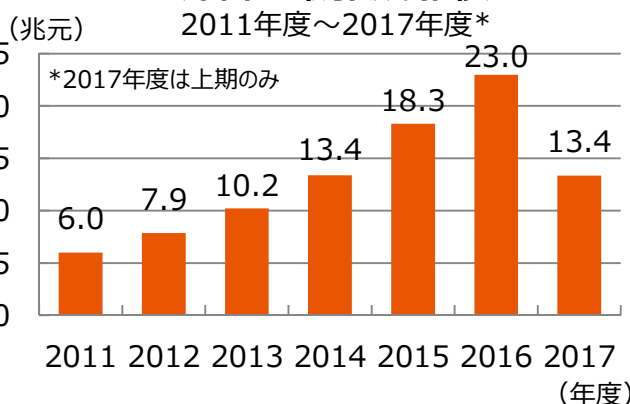
中国電子商取引研究センターの発表によると、中国の2017年上半期中国電子商取引額は前年同期比+27.1%の13.4兆元（約230兆円）と、2016年通年（前年比+25.5%）を上回る勢いで伸びました。2017年通期でも、堅調な伸びが期待されています。

インターネット環境の整備とスマートフォンの普及が進む中、都市部に加え農村部の住民の所得増に伴う消費支出の増加、店舗小売業の発展の遅れ、消費の中心が1980・90年代生まれの層へと移行、大型EC企業の台頭などがEC市場の拡大を後押ししています。

（注）為替は1元＝17.386円（2018年1月末）で算出。

（出所）中国電子商取引研究センターのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

＜中国EC取引額の推移＞



EC市場の拡大により、物流網の整備・進展や雇用拡大に期待

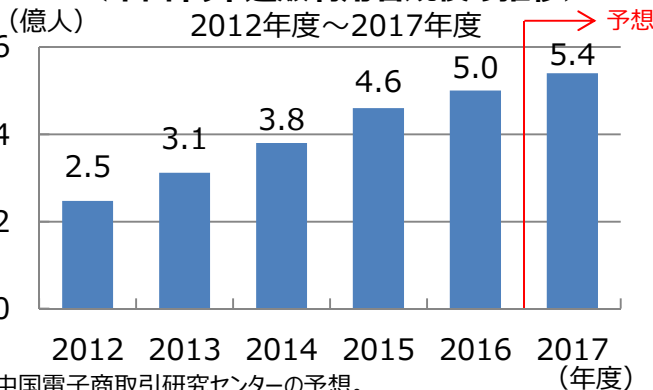
ネット通販の利用者規模は2017年で5.4億人が見込まれています。中国政府は、インターネット環境の整備とその活用を促進する「インターネットプラス」政策を重要な政策と位置づけているほか、「一带一路」政策でも、関係国との貿易をECによって促進するとみられ、今後も利用者の増加やECビジネスの拡大が見込まれています。

EC市場の拡大は、物流市場に変化をもたらすとともに、配送網の整備などの企業の投資を促し、関連業界を含めた雇用拡大などの経済効果が期待されます。

（注）2017年度は中国電子商取引研究センターの予想。

（出所）中国電子商取引研究センターのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

＜中国ネット通販利用者規模の推移＞



■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。